

東京・立川でR-HMの展示始まる

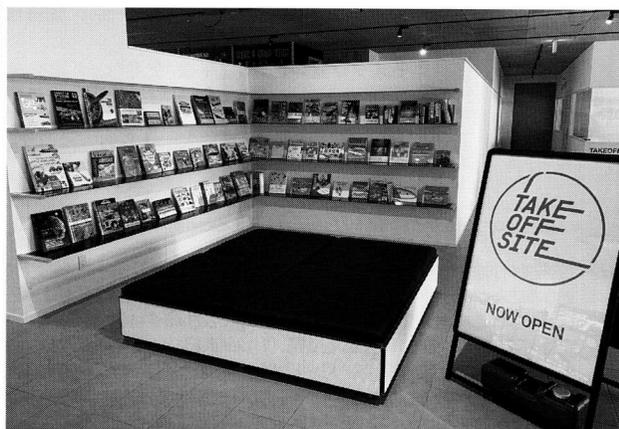
取材：横川裕一



4月10日、立川飛行場跡地の最後の大型開発物件として、立川駅北口に新街区「GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)」がオープンした。あいにくのコロナ禍により華やかなセレモニーもなく、秋に向けての段階的な部分開業でもあったが、当日オープンした施設のひとつ「TAKE OFF-SITE」(テイクオフサイト)にR-HMが展示されている。同機は戦後の1954(昭和29)年に新立川航空機(戦前の立川飛行機の後継会社)においてフランス人のアンリ・ミニエによって設計、製作された軽飛行機で、2014(平成26)年に修復されたもの。詳しくは今号P.87からの記事を参照されたい。

機体にはロープも張られておらず、間近で観察できるほか、ミニ航空図書閲覧コーナーも併設されており、また立川・多摩地域の企業商品を集めたショップも近くに設けられている。テイクオフサイトはグリーンスプリングスのE1エリア2Fで、立川駅からモノレール下の通りを上がってすぐ右手にある。外出自粛要請が解除された後には、R-HMの黄色いそして可愛い姿を多くの方に見ていただきたいと願う。

※グリーンスプリングスはJR立川駅から徒歩8分。テイクオフサイトの営業時間は10:00~17:00。なおコロナ対策のため、オープン時に予定された各種の記念イベントは延期になっている。



◀↑ 左が、滑走路状の塗装がR-HMへと誘ってくれるテイクオフサイトへの入口。上が、休憩スペースも兼ねたミニ航空図書閲覧コーナー。